

## 「ポストバス」

Aさん：一つのバスでいろいろな機能を担うのは、本当におっしゃる通り（※注）だと思います。ヨーロッパには、バスが走りながらポストを一つ一つ開けて、郵便の集配と一緒にやるポストバスを郵政省にあたる官庁が運営しているところがあります。もともとは赤字でバス路線が維持できなくなったところで、集配作業をしないといけない郵政省が始めたと資料で読んだことがあります。そういう事例は日本ではまだないはずで、中山間地域で必ず走らないといけないものとして郵便事業はありますので、そういうことと連携できたらおもしろいかなと思います。

知事：絶対やらないといけないものに、くっつけるということですね。公共交通機関の活性化にもつながる形でやりたいと思っていますから、いろいろなパターンを考えたいと思います。

### ※注 知事コメント

あともう一つは、全国的にも、コミュニティバスなどを公共交通として町が運営しているものもあつたりします。とにかく地域の支え合いの足づくりが課題になっていて、NPOさんがやっておられるものもあります。黒潮町はボランティアベースで、二人が主体になって一人分の人件費でやっておられて、なお大赤字です。なかなか経営ベースに乗らなかつたりする。インフラとしてとらえて、きるだけ効果的・効率的で、補助金をあまりかけずにできるような仕組みを検討している最中です。高知県の場合は、人が少ないために採算が合わなかつたりするので、買い物も通院も、アイデアとしては公共サービスも、印鑑証明、住民票とかもできるように多機能型にしたらどうかなどと内部で検討し、勉強を進めさせていただいているところです。